

上宮寺通信

第三十九号

お齋(とき)

一年半以上も続くコロナ禍で私たちの生活は大きく変化しました。

特に三密(密閉、密集、密接)といわれる状況を避ける生活が求められ、葬儀、法事などの仏事もその影響を大きく受けています。参列する親族や会葬者も少なくなり、葬儀後や法事後のお齋(食事)もなしということも多くなってきました。

お寺の行事でも一同に会してお齋をいただくということが難しく、今月8日の報恩講もお齋なしでの法要となっています。

お齋とは仏事での食事のことを意味しますが、「齋」の字を用

いてなぜ「とき」と読むのか。

もともとお釈迦様以来の仏教教団では、食事は午前中の決められた時間に取るものとされてきました。ですから食事の時ということでは「とき」と呼ばれていたのです。

この「とき」以外に取る食事のことは「非時(ひじ)」と呼ばれます。仏事後の食事は午後になってしまうことが多いので、地方によっては「お齋」といわず「お非時」というところもあるそうです。

そして「齋」の字はもともと「物忌み」とか「つつしむ」という意味があります。

仏事後の食事というのは、本来は肉類のない精進料理が主であったため「齋」の字があてられ、「お齋(とき)」と言われ

るようになったと推測されま

す。

本願寺八代の蓮如上人は門徒に「寄合、談合」を勧められました。それは決して悪い意味で言われたものではありません。みんなが集まっていろいろな話を

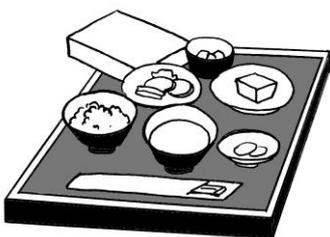
して、その中から仏法に導かれ信心を確かめ合う場にしてほしいと願われたのです。

「寄合」のときには食事やお酒もふるまわれれたことも多かったに違いありません。食事をしながら、お酒を飲みかわしながら仏法談義をする、お齋の場そのものが仏事であったともいえます。

現在の法事のお齋も、単なる食事の席というだけでなく大切な役割があります。親族が

集まり、故人の思い出話とともにお互いの近況報告をする。お年寄りから赤ちゃんまで集まり、その中でいのちのつながりを感じていく。念仏を中心として縁ある人々が集う場がお齋です。

いまはコロナ禍で集まるということが難しい状況ではありませんが、仏事とお齋は切っても切れないもので、とても大切なものです。でも、大切にすぎず、法事の際に「お齋の時間があるから、お経は短めに」とは言わないでくださいね。



◆行事案内

上宮寺の行事

報恩講

11月8日(月)

午前10時〜正午頃

法話 伊奈祐諦師

(西尾市安楽寺前住職)

※マスク着用にご協力ください。

※お齋(食事)、呈茶はございませんのでご了承ください。

本山報恩講団体参拝(日帰り)

11月24日(水)

東本願寺報恩講(連夜)参拝、

北野天満宮見学 他

参加費 一四、〇〇〇円

定員 45名(定員になり次第締切)

※これらの行事は今後の新型コロナウイルスの感染状況によっては変更する場合があります。

修正会

1月1日(元旦)

午後2時〜

元旦の午後2時から本堂にて正信偈のおつとめをいたします。残念ですが、ピング大会と、甘酒やお抹茶のふるまいは中止させていただきます。

なお、修正会にお参りできなくても、元旦の午後1時〜3時の間は、本堂ならびに納骨堂を開放いたしますので、どうぞ年の始めに上宮寺にご参詣ください。

東本願寺 報恩講

11月21日(日)〜28日(日)

名古屋別院 報恩講

12月13日(月)〜18日(土)

◆話題あれこれ

○報恩講では「おみがき」でピカになった仏具が本堂に備えられます。皆さんの協力をいただきます。きながら報恩講は勤められます。ありがたいことです。

○報恩講や春秋の永代経で、いつも作っていたく、おいしいお味噌汁が恋しくなってきました。早くお齋が出せる状況になってほしいです。

○だんだんと寒くなってきました。体調を崩さぬよう、くれぐれもご自愛ください。

【雑感】

来季から中日ドラゴンズは立浪監督となります。多くのファンにとって待望の監督登場です。ただ、野球は監督ではなく選手がするもの。現有戦力では来季も苦戦することが予想されます。しかも立浪監督はドラゴンズにとって切り札ともいえる存在。今季のように成績低迷に沈み、2〜3年で監督退任となったなら、ファンの失望もはかり知れないものとなります。球団も相当な覚悟をもって臨んでいると信じています。なんとか強いドラゴンズにしてほしいと願っています。

(住職記)

【発行】

真宗大谷派

上宮寺

昭和区白金一丁目十九番十五号

☎052-871-0547

